

7 異常を感じたら

●万一次のような異常を感じたら処置、対策にならない確認して下さい。それでも改善されない時は、本体電源スイッチをOFFにして、ブレーカーを落とし、販売店、施工店、又は弊社窓口へご一報下さい。分解は危険です。

こんなとき	原因	処置、対策
ファンが運転しない。	ブレーカーが落ちている。	ブレーカーを上げて下さい。
	コンセントが外れている。	コンセントを差し込んで下さい。
	本体スイッチがOFFになっている。	本体側面のスイッチをONにして下さい。
コントローラーのランプが点灯しない。	本体スイッチがOFFになっている。	本体側面のスイッチをONにして下さい。
	モーター、回路の異常。	電源を切り、お近くの販売店、弊社窓口へご相談下さい。
運転中に異音や振動がする。	本体がしっかり設置されていない。	電源を切り、お近くの販売店、弊社窓口へご相談下さい。
	ファンの内部に異物がある。	電源を切り、お近くの販売店、弊社窓口へご相談下さい。
乾燥感がある。	コントローラーがMax運転になっていませんか？	適正な位置に目盛りを戻して下さい。
においがする。	コントローラーの目盛りが適正な位置より弱い位置で運転されている。	適正な位置に目盛りを戻して下さい。
	フリーズ(排気口)の開度が閉じている。	フリーズ(排気口)の開度を再調整して下さい。
結露が起こる。	室内の温度が不足している。	室内の非暖房室をなくし、窓の表面温度を上げて下さい。
上記以外のトラブル	電源を切り、お近くの販売店、弊社窓口へご相談下さい。	適正な位置に目盛りを戻して下さい。

8 アフターサービス

- 異常の場合は7に習って次の事項をご連絡下さい。①おところ ②お名前 ③異常の状況
当社がお客様から得る個人情報、本アフターサービス及び当社からのお知らせ以外の目的には利用致しません。
- 保証期間の修理は無料でを行います。但し保証期間中であっても有料になる場合があります。
詳しくは証書記載の「無料修理規定」をお読み下さい。
- 保証期間経過後の修理についてはご相談下さい。
- この排気システム用補修部品の最低保有期間は製造打切後6年です。この期間は経済産業省によるものです。

ジェイベックセントラル換気ファン	
保証書	
形式名	DCエンジェル AN-160DC
セットNo.	お引渡日 年 月 日
ジェイベックセントラル換気ファンのつき、下記のとおり保証いたします。	
記	
1. 保証期間は引渡しより1年間	
2. 無料修理規定	
(1) 保証期間内において取扱説明書、取扱注意表示などに従った使用状態で故障した場合には無料修理いたします。	ハ、火災、地震、風水害、落雷及びその他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、異常水圧、凍結、その他の外部要因による故障及び損傷。
(2) 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、下記連絡先にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提出下さい。なお離島及び離島に準ずる遠隔地はの出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。	ニ、腐食性物質、高温空気又は火災の吸入による故障及び損傷。
(3) 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。	ホ、故障の原因が本システム以外の部分にあって、それを点検、修理した場合。
イ、取扱説明書の指示に反する取扱いによる故障及び損傷。	ヘ、保証書のご提示がない場合。
ロ、使用上の誤り、及び当社が認めていない不当な修理、調整、改造による故障及び損傷。	ニ、この保証書は、日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
	ホ、この保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管して下さい。
●この保証書は、本書に明示した期間や条件のもとで無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。	
●保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、下記連絡先へお問い合わせ下さい。修理によって性能が維持できる場合は有料修理いたします。	

お客様で相談窓口一覧

修理サービスや製品についてのご相談は、機種名をご確認の上、お買い上げの販売店または右記のご相談窓口にご依頼下さい。

なお、名称、所在地、電話番号は、変更される場合がありますので、ご了承下さい。

販売店	住所・社名
	電話 () -



穏やかな室温と100年の耐久性を求めて	
円山研究所【往雲館】	〒064-0944 札幌市中央区円山西町10丁目4-5 TEL・FAX (011) 612-6335
本社/新潟営業所	〒950-0863 新潟市東区卸新町1丁目2059-5 TEL (025) 250-8900 FAX (025) 250-8877
本部/東京営業所	〒160-0022 東京都新宿区新宿1-6-8 鈴木ビル TEL (03) 3357-5755 FAX (03) 3357-5589
札幌支店	〒007-0801 札幌市東区東苗穂1条2丁目3-9 TEL (011) 781-8201 FAX (011) 783-6166
東北営業所	〒020-0066 盛岡市上田3丁目14-26 荒川ビル TEL (019) 621-8180 FAX (019) 621-8190
大阪営業所	〒564-0052 吹田市広芝町9-12 第11マイタビル705 TEL (06) 6368-2040 FAX (06) 6368-2041
九州営業所	〒813-0043 福岡市東区名島3丁目34-11 TEL (092) 674-3688 FAX (092) 674-3687
秋田事務所	〒010-1423 秋田市仁井田字大野1 TEL (018) 892-6080 FAX (018) 892-6085
物流センター	〒950-0863 新潟市東区卸新町1丁目2059-5 TEL (025) 250-8861 FAX (025) 250-8863
ホームページアドレス	http://www.jbeck.co.jp

取扱説明書 (保証書付)

お施主様用

24時間セントラル換気ファン



DCエンジェル / AN-160DC

この度は、ジェイベック換気システムDCエンジェルをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。尚、本書をお読みいただいた後は、必ずお客様にお渡し下さい。本書には保証書がついていますので、なくさないよう大切に保管して下さい。

1 安全上のご注意 ◎安全のために必ずお守り下さい。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

警告 作業を誤った場合に設置工事業者が、又は設置工事の不具合によって使用者が、死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合

注意 作業を誤った場合に設置工事業者が、又は設置工事の不具合によって使用者が、傷害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合

表示の例 ！ この記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

⊘ この記号は禁止の行為であることを告げるものです。

！ この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

警告

●お手入れ時
お手入れの際は、専用回路のブレーカー（住宅用分電盤）を切るか、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。感電やけがをすることがあります。

●本体に水をかけない
本体各部に直接水やお湯・カビ取り剤等をかけないで下さい。ショートや感電の恐れがあります。

●電源プラグについて
◆電源プラグの抜き差しは、必ずプラグを持って行って下さい。芯線の断線により、感電やショートによる発熱・発火の原因になります。
◆電源プラグやコードを傷つけたり、破損させたり、加工しないで下さい。
◆電源プラグは、刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭き取って下さい。火災の原因になります。

●電源スイッチについて
電源スイッチを濡れた手で切/入しないで下さい。感電の恐れがあります。

●アース線接続
アース接続工事を行って下さい。故障や停電のときに感電する恐れがあります。アースの取付けは販売店にご相談下さい。

●分解修理の禁止
修理技術者以外の方は、絶対に分解・改造は行わないで下さい。火災・感電・けがの原因となります。

●異常時使用禁止
異常時は、使用しないで下さい。異常を感じたり緊急の場合は、専用回路のブレーカー（住宅用分電盤）を切るか、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

注意

●お手入れ時
板金等の切り口や本体の突起・角等でけがをすることがあります。ゴム手袋を使用して下さい。

●物をかけないで
本体などにぶらさかたり重いものをかけないで下さい。落下によりけがをすることがあります。

●電源の接続
交流100V以外では使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。

●取付け部
長期間の使用で本体の取付け部などが傷んでないか、注意して下さい。本体の落下により、けがの原因になることがあります。

●移動再設置
本体を移動再設置する場合は、お買い上げの販売店または、相談窓口へご連絡下さい。取付けに不備があると落下・感電・火災などの原因になることがあります。

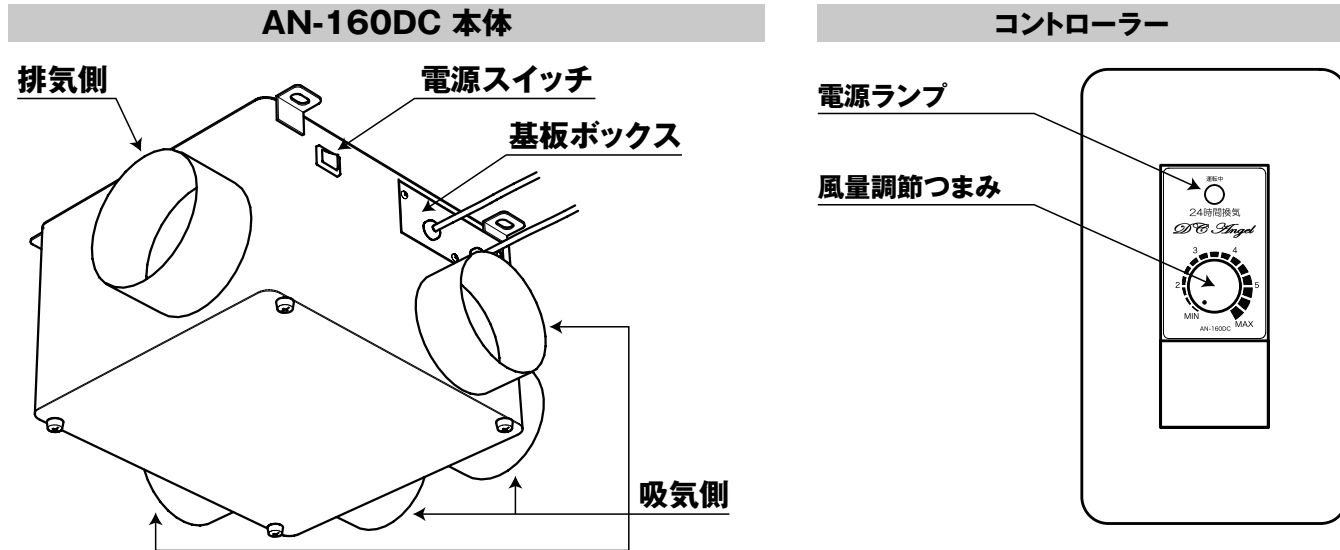
●作業
脚立を使用して作業する場合は、落下、転倒に十分注意して下さい。



穏やかな室温と100年の耐久性を求めて

http://www.jbeck.co.jp

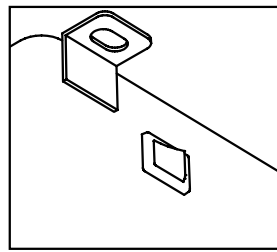
2 各部の名称と使用方法



3 使用方法

●電源スイッチを入れる

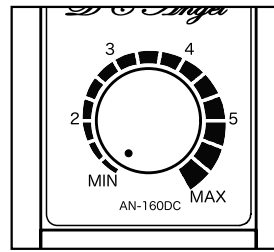
電源プラグが正しくコンセントに差し込まれていることを確認し、電源スイッチをONにします。
24時間換気のため点検以外はスイッチを切らないようにして下さい。



●コントローラーの操作

コントローラーは無段切替となっています。住宅の大きさに合わせて風量を調節して下さい。

MIN	留守やお休みのとき
2~3	通常するとき
4~5	多数来客のとき
MAX	新築のとき



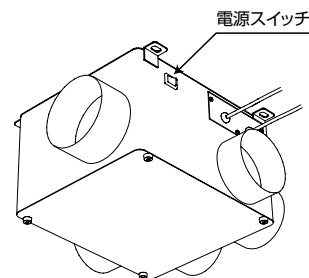
4 お手入れ

①本体

ファンのお手入れは1年に1回程度掃除して下さい。
ファン内部にほこりがたまると換気能力が低下し、故障の原因となります。

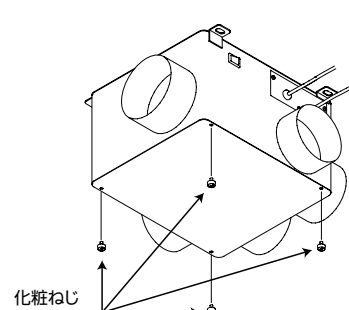
お手入れ方法 ◆次の手順に従って表カバーをはずし、掃除をお願いします。

① 電源スイッチを切る



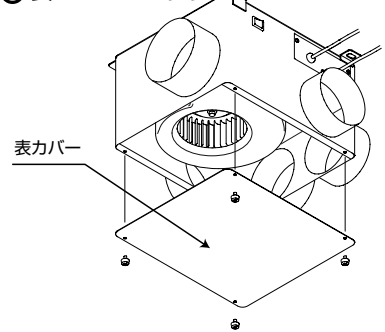
⚠ 安全のため必ずブレーカー又は電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。

② 化粧ねじ(4本)をはずす



⚠ ファンユニット掃除の際、けがをされるおそれがありますので、ゴム手袋を使用して下さい。

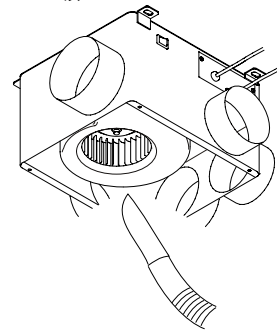
③ 表カバーをはずす



⚠ スwitchをOFFしてから1~2分間はモーターがまだ回転しており、この間の取り外しは大変危険です。必ず3分間おいてから取り外すようにして下さい。

⚠ 作業中頭上には十分注意して下さい。作業の際は、対象物を手でおさえて下さい。

④ クリーナーで吸いとる

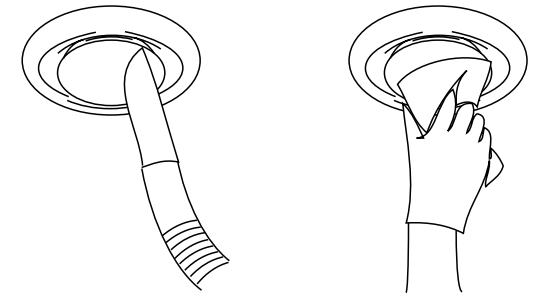


⚠ モーターの羽等破損しないよう慎重に行ってください。

② 排気グリル (ブリーズ100)

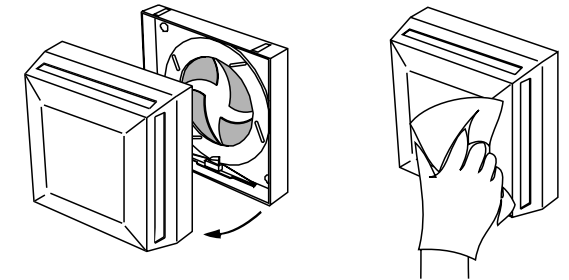
●表面のほこりはクリーナーで吸い取り、表面の汚れは水又は台所用中性洗剤を浸した布でふき取ったあと、から拭きして下さい。(開度計で目盛を確認しておいて下さい。)

※各パーツのお手入れには中性洗剤以外使用しないで下さい。
ベンジン、アルコール、シンナー等の溶剤は使用しないで下さい。



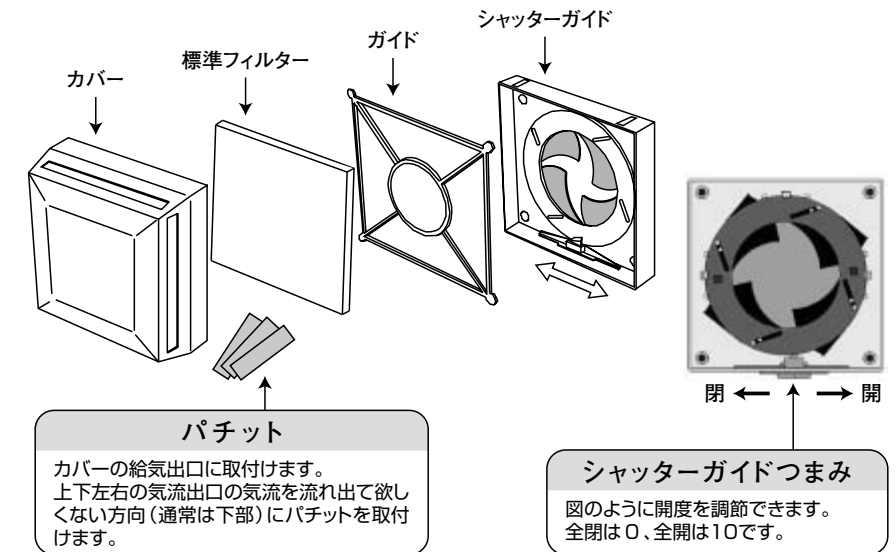
③ 給気グリル (パスカル)

●パスカルのカバーは引き出すと図のように外れます。
●表面の汚れは水又は台所用中性洗剤を浸した布でふき取ったあと、から拭きして下さい。(お手入れの目安は3ヶ月に1度程度)
●フィルターの汚れは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で濯ぎ洗いをします。洗った後は十分に乾燥させてから元どおりに取り付けて下さい。



使用方法 (続き)

●シャッターガイドのつまみを左右にスライドさせることによって給気量の調節ができます。
●通常時はつまみ中央の印(溝)を目盛り(カバー)の真中に合わせて使用します。(半開状態)
●吹雪や台風などの雪や雨、風の強いときは一時的にシャッターを閉じて下さい。(水の侵入防止)
●冬期間、冷気を感じる、又はカバー付属のパチットが結露する場合は、つまみを左側にスライドさせ開口を絞り、給気量を少なくして対処して下さい。
●給気量は、風の強さ・向き、室内外の温度差など、自然条件によって常に変化します。



パチット
カバーの給気出口に取付けます。上下左右の気流出口の気流を流れ出て欲しくない方向(通常は下部)にパチットを取付けます。

シャッターガイドつまみ
図のように開度を調節できます。全閉は0、全開は10です。

5 仕様

名称	DCエンジェル	寸法	W230×L260×H160mm(ダクト接続部、取付金具除く)
形式	AN-160DC	重量	本体 3.8kg / コントローラー 0.2kg
種類	排気型(第3種)換気ファン	使用ダクト径	排気口 φ100mm / 吸気口 φ90mm(呼び径)
電源	AC 100V 50/60Hz	騒音	13~32dB
排気量	60m ³ /h~200m ³ /h(20~70Pa時)	付属品	コントローラー・コントローラーケーブル5m・木ビス×4・ワッシャー×4・防振ゴム×4・取扱説明書
消費電力	3~19W		

特性表	最大風量 (m ³ /h)	有効換気量 (m ³ /h)	静圧 (Pa)	消費電力 (W)	騒音 (dB)	質量 (kg)	適用ダクト呼び径 (mm)
1 (Min)	100	65	15	2.7	13	3.8	吸気 φ90 排気 φ100
2	130	70	30	3.6	16		
3	155	105	40	5.7	24		
4	190	132	50	6.3	25		
5	220	165	60	12.8	29		
6 (Max)	250	200	70	19.3	32		

※消費電力は有効換気時の値です。
※騒音は無響音室における有効換気時の値であり、測定位置は下方1mの値です。
※数値は測定値であり、性能を保証するものではありません。

6 エアクオリティを保つために

- 換気を十分に行うため室内のドアはできるだけ開け放しておいて下さい。
- 部屋どうしに温度差があると、冷たい空気が室内を走り結露の原因となります。
- できるだけ全室暖房とし、温度差が生じないようにして下さい。
開放型ストーブ、ファンヒーターはご使用をひかえて下さい。結露の原因となります。